



日の出町

人口ビジョン及び

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

我が国の少子化の進行、人口減少は深刻さを増しており、出生数の減少は急速に進み、2015年に100万6千人であった年間出生数は、2019年には86万5千人と、過去最少を記録し、いわば「86万ショック」とも呼ぶべき状況となりました。

また、合計特殊出生率については、2005年に最低の1.26を記録した後、上昇傾向となり、2015年には1.45まで回復したものの、その後は低下傾向にあり、2019年は前年に比べて0.06ポイント低下し1.36となりました。

こうした状況を踏まえ、国では、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和元年12月20日閣議決定。以下「第2期総合戦略」という。）において、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と「東京圏への一極集中」の是正を共に目指し、2020年度を初年度とする今後5か年の施策の方向性として、4つの基本目標と2つの横断的な目標を掲げ、施策を推進することとしています。この日の出町第2期総合戦略は、日の出町人口ビジョンにおいて現状分析を経て、令和47（2065）年の目標人口である15,870人を目指すために、取り組むべき施策を基本目標毎に定め、人口減少の克服を期するものです。



令和3年3月

日の出町



日の出町「ひのでちゃん」

人口ビジョン

● 日の出町人口ビジョンの位置づけ及び対象期間

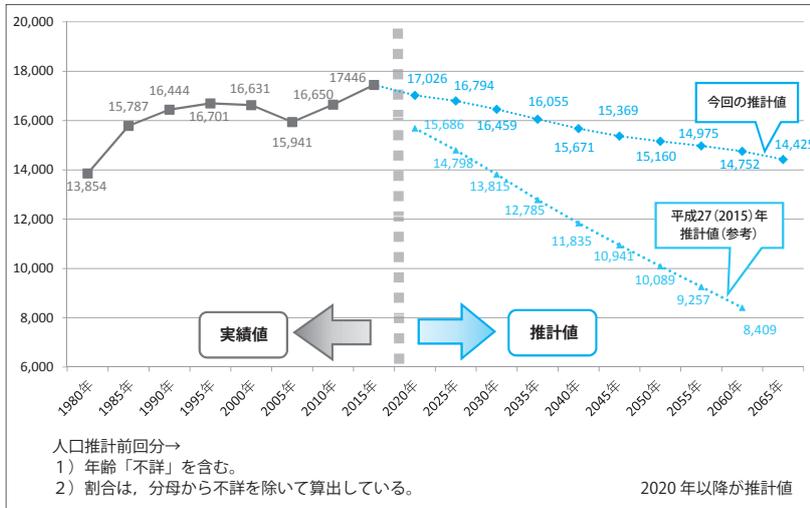
日の出町第2期総合戦略において、まち・ひと・しごと創生の実現に向けた施策を企画・立案する上で基礎となるもので、日の出町における人口の現状分析を行い、人口に関する町民の皆様の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものと位置づけます。

対象期間は平成27(2015)年～令和47(2065)年までです。

● 人口の推移

人口の推移と将来人口推計

単位：人



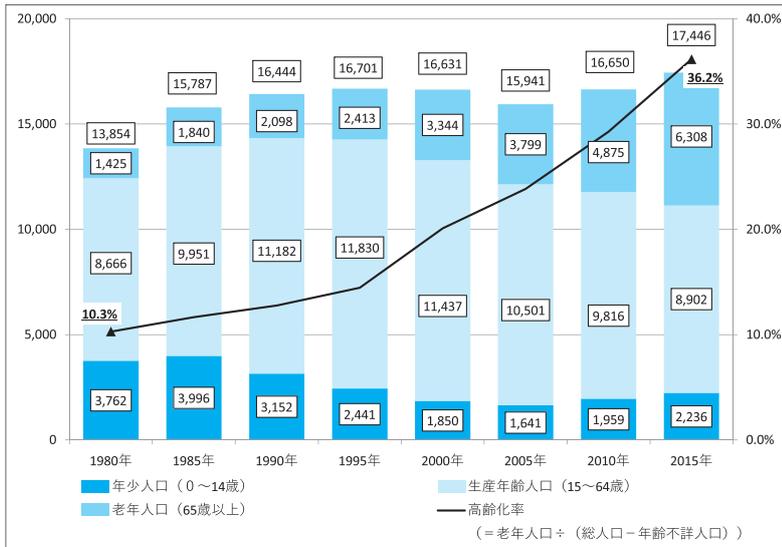
平成27(2015)年10月に行われた国勢調査によると、本町の人口は17,446人であり、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)に準拠した推計によると、本町の人口は令和47(2065)年には14,425人になるとされています。



資料：国勢調査、まち・ひと・しごと創生本部配布のワークシートより作成

年齢3区分別人口と高齢化率の推移

単位：人



資料：国勢調査より作成。

年齢3区分別人口をみると、年少人口は、減少し、平成17(2005)年には1,641人となりましたが、平成27(2015)年にかけて再び増加し、2,236人となっています。

老年人口は、ペースを早めながら増加し続けています。平成12(2000)年に年少人口を上回ると、平成27(2015)年には6,308人に達しました。

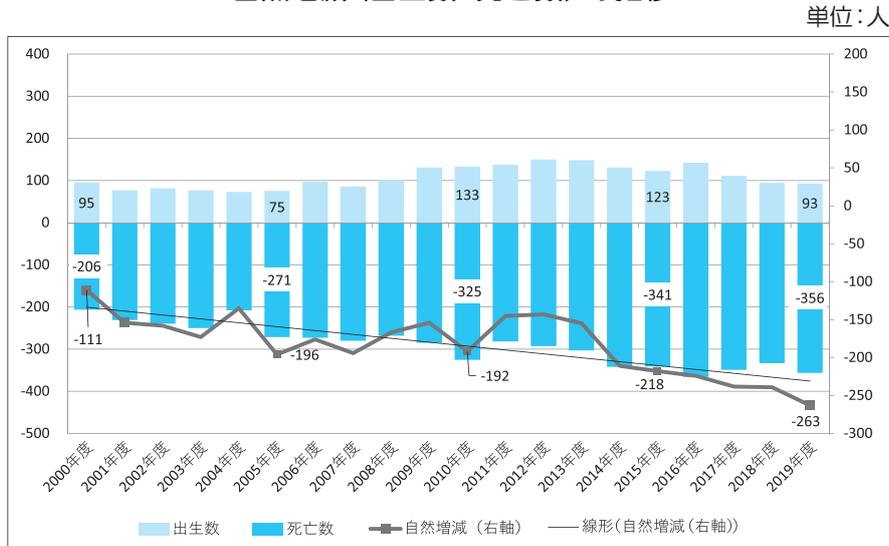
高齢化率は、昭和55(1980)年の10.3%から平成27(2015)年には36.2%となっています。

また、本町の特徴として、介護保険施設等が多いために、老年人口が特に多くになっていることがあげられ、介護保険施設等の入所者数を差し引いた参考の高齢化率は30.3%になります。

※年齢「不詳」は除く。そのため、年齢3区分別人口の合計は、総人口と必ずしも一致しない。

● 人口の自然増減

自然増減（出生数・死亡数）の推移



自然増減（出生数－死亡数）の推移をみると、出生数を死亡数が上回る自然増が続いています。

平成25(2013)年以降は死亡数が300人を超えるようになりました。

出生数に対して死亡数が多いのは、介護保険施設等が多いために高齢者の多い本町の特徴ですが、一般世帯の高齢化も進んでおり、出生数の増加幅に比べて死亡数の増加幅が大きいため、自然増が進行しています。

資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（各年4月1日～翌3月31日現在）

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した合計特殊出生率は、令和元(2019)年時点で1.41と、東京都および全国平均よりも高くなっています。

しかし、現在の人口を維持できる合計特殊出生率の目安(人口置換水準2.07)より低くなっています。



	日の出町	東京都	全国
合計特殊出生率(2019年)	1.41	1.15	1.36

資料：東京都福祉保健局 人口動態統計、厚生労働省 人口動態統計

● 人口の社会増減

社会増減（転入数・転出数）の推移



平成20(2008)年度以降は、転入数の急増と転出数の減少傾向の影響から、毎年300人以上の社会増を記録していましたが、平成27(2015)年以降は200人前後にとどまっています。

資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（各年4月1日～翌3月31日現在）



● 人口の将来展望

目指すべき将来の方向

● 安定した雇用を創出する

● 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

● 時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る

目標人口に向けた仮定

● 自然増減

・ 合計特殊出生率 2015年 1.59※ → 2045~2065年 1.8

※人口推計では国勢調査人口を用いるため、これにあわせ国勢調査人口をもとに推計された合計特殊出生率を用いた。これは本資料2ページに掲載されている、国民基本台帳をもとに推計された合計特殊出生率とは異なった値となっている。

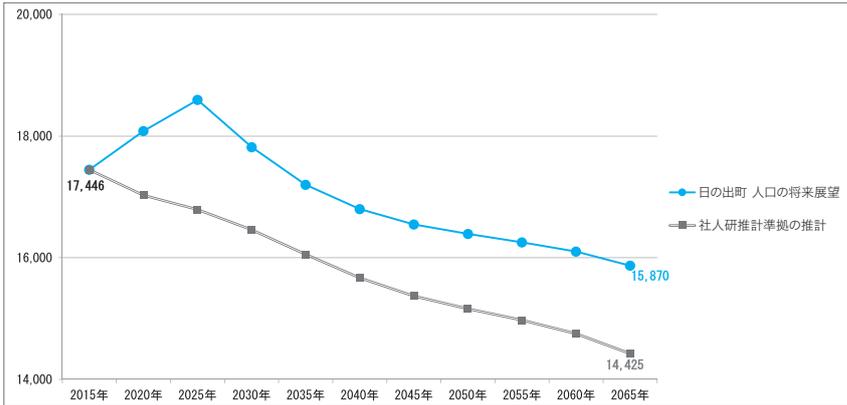
● 社会増減

・ 15~24歳の移動均衡(2065年まで)

・ 2010~2015年の純移動率の継続(2025年まで、それ以降は社人研推計に準拠)

人口の将来展望 (総人口)

単位：人



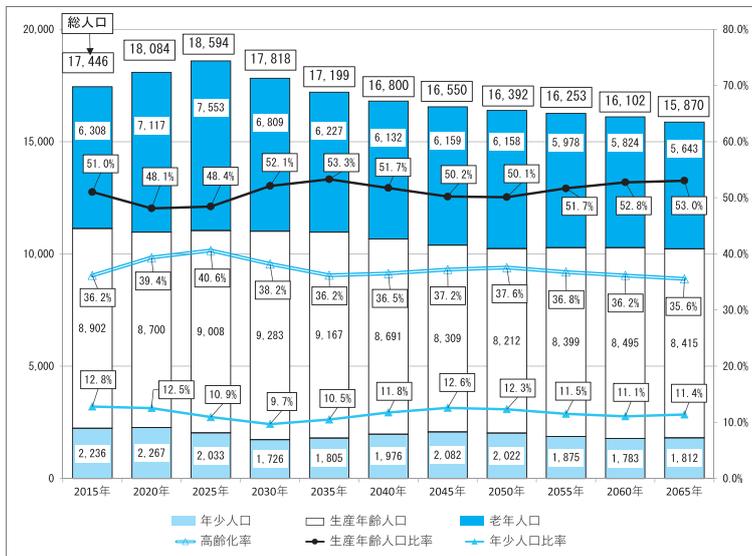
人口の将来展望
令和47
(2065)年

15,870人

資料：まち・ひと・しごと創生本部配布のワークシートより作成

人口の将来展望 (年齢3区分別人口)

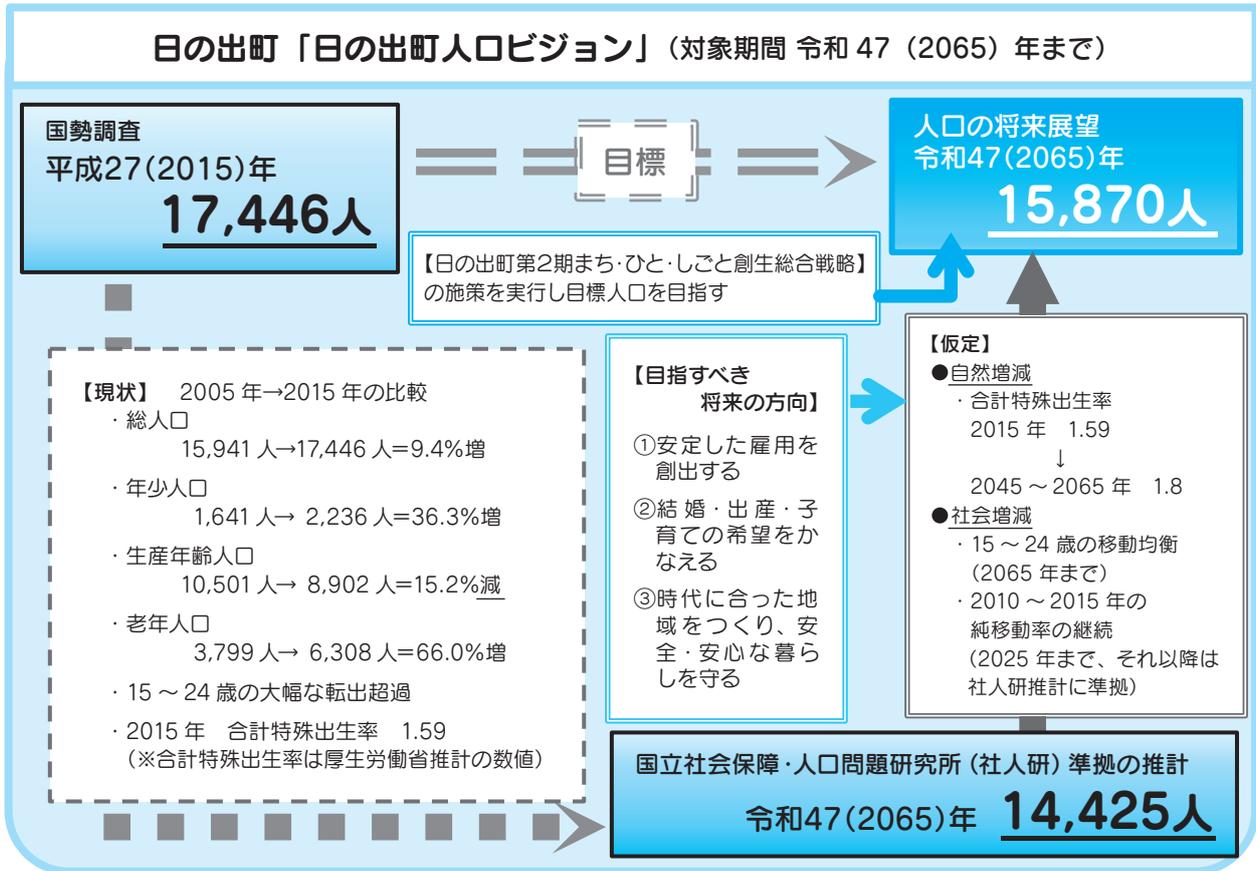
単位：人



資料：まち・ひと・しごと創生本部配布のワークシートより作成



日の出町人口ビジョン 概念図



「目指すべき将来の方向」の詳細

①安定した雇用を創出する

20代の転出が多い本町において、若い世代を中心とした人口流出を抑制するためにも、本町における地域資源を最大限に活用しながら、農林業や商工業をはじめとする各種産業について、雇用機会の確保や創出につながる地域の特性を生かした産業政策に取り組むことによって、働きたい人々の受け皿を創出します。

②結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚をしたいと思う若者や、子どもを持つと思う夫婦が希望を持って将来設計が描けるように、次世代育成クーポンをはじめとした施策や、子育て環境の一層の充実を図り、結婚・妊娠・出産・子育てをしやすい環境づくりに取り組み、人々がこの町での生活を思い描けるようにします。

③時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る

学校や仕事でひとたび町外にでることになっても、町に対する愛着は、「ふるさと日の出町」への回帰を後押しするものと考えられるため、地域の課題は、地域で解決する観点からも、ふるさとに対する意識を醸成し、人々が再びふるさとに戻ってきたくなるまちにします。安全・安心に対する住民の意識が高まる中、大きな災害が少ない日の出町の強みを生かすとともに、交通便利性の向上や環境に配慮したまちの形成、福祉施策の充実などにより、誰もが安全・安心に暮らせる環境づくりを進め、このまちに長く居住できるようにします。

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

● 日の出町総合戦略の位置づけ

第2期日の出町総合戦略は、第5次日の出町長期総合計画(案)に掲げた将来像「みんなでつくろう 日の出町!安心・躍進・自立のまち」の実現を目指しつつ、国の戦略における4つの基本目標と2つの横断的な目標に重点を置き、持続可能な活力ある地域をつくるため、第5次日の出町長期総合計画前期基本計画(案)との整合を図りつつ、施策横断的に特に重点的に取り組む事項として位置づけます。

なお総合計画は日の出町の総合的な振興・発展が目的であり、一方で総合戦略は人口減少克服・地方創生が目的です。後者は前者のうち減少克服・地方創生に関する部分を抽出し、実施計画として策定するものです。特に第二期の総合戦略は国際的な開発目標であるSDGsの目標達成に資することを目指します。

● 日の出町総合戦略の基本的な考え方

日の出町創生に向けた基本方針

本町への人口移動(定住人口・交流人口)の実現を目指して、経済面の活性化による仕事づくりを重点課題とし、ソフト事業を中心に計画された施策が活性化の動力となり、その効果が一時的なものでなく、継続的に雇用創出や地域活性化に寄与するよう取り組みます。

まち・ひと・しごと創生に向けた政策5原則

人口減少の克服と日の出町の創生を実現していくため、国の「第2期総合戦略」で掲げられている「まち・ひと・しごと創生」政策5原則を踏まえ、第1期に掲げていた政策5原則をつぎのとおりに見直し、施策の展開を図ります。

①自立性

②将来性

③地域性

④総合性

⑤結果重視

日の出町総合戦略の基本目標

地方創生に向けた取り組みを進めるため、第1期日の出町総合戦略で設定した4つの基本目標を継続するとともに、新たに2つの横断目標を設定します。

基本目標1. 安定した雇用を創出する

基本目標2. 新しい人の流れをつくる

基本目標3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標4. 時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る

横断目標1. 多様な人材の活躍を推進する

横断目標2. 新しい時代の流れを力にする

● 計画の期間

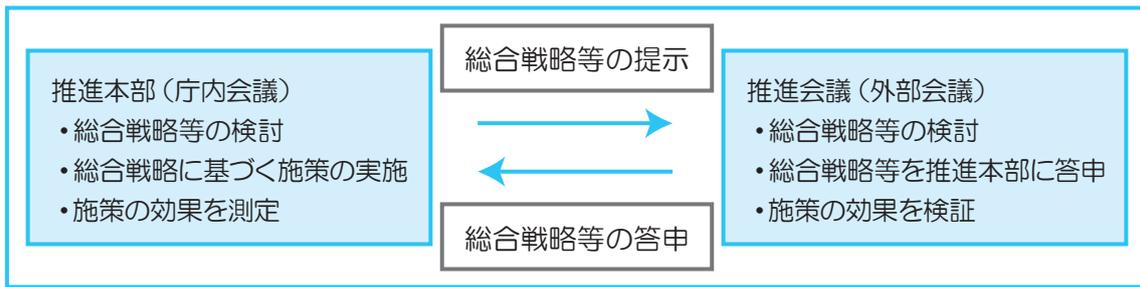
令和2年度から令和6年度までの5か年の計画であり、本計画に基づく施策の進捗状況について、年度ごとに点検・評価を行います。

● 計画の策定体制

計画の策定にあたっては、日の出町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部(以下「推進本部」という。)を設置するとともに、日の出町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議(以下「推進会議」という。)を設置し、「産・官・学・金・労・言」や協力員など地域の様々な主体の関係者の意見を反映して策定しました。

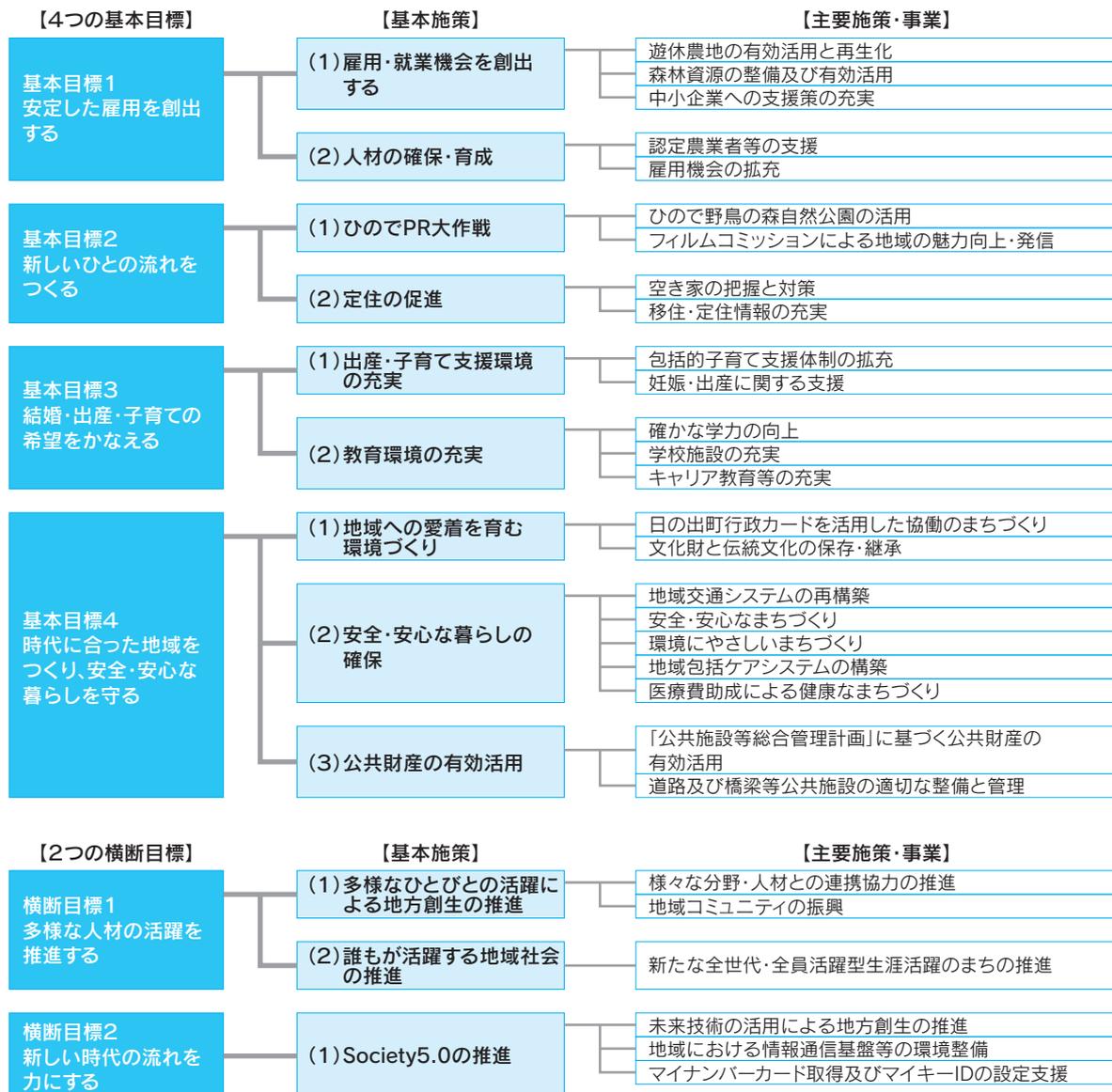
※地方版総合戦略の策定に関する国の方針では、産(産業界)、官(国・地方公共団体の行政)、学(教育機関)、金(金融機関)、言(言論界)など幅広い分野の主体が参加することが求められている。

推進本部（庁内会議）と推進会議（外部会議）との関係



● 施策の体系

基本目標ごとの施策の体系を次のとおり設定しました。



● 基本目標ごとの取り組み

基本目標1 安定した雇用を創出する

男女ともに20代の転出が多い本町において、若い世代を中心とした人口流出を抑制するためにも、本町における地域資源を最大限に活用しながら、農林業や商工業をはじめとする各種産業について、雇用機会の確保や創出につながる地域の特性を生かした産業政策に取り組みます。

都市部からの多様な人材の還流や、地元の人材の育成・定着などを通じて、地域産業を支える人材の確保を図ります。

数値目標

- ◆町内事業所従業者数(経済センサス)
9,017人(令和元年度) ⇒ 9,242人(令和6年度)
- ◆新規就農認定数(累計)
0人(令和元年度) ⇒ 5人以上(令和6年度)



(1) 雇用・就業機会を創出する

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
担い手への農地利用集積面積	5.7ha	6.0ha以上
主間伐実施面積	8ha	40ha以上
商店数	247店	現状維持

【主要施策・事業】

- ・遊休農地の有効活用と再生化
- ・森林資源の整備及び有効活用
- ・中小企業への支援策の充実

(2) 人材の確保・育成

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
認定農業者年間認定数	17人	21人以上
就業情報提供数	48件	96件以上

【主要施策・事業】

- ・認定農業者等への支援
- ・雇用機会の拡充

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

都市部から本町へのU・Iターンの流れを見据えながら、広報誌やホームページなどを活用し、日の出町の魅力を積極的に発信するとともに、定住・移住希望者のニーズを的確に把握しながら、各種の定住促進施策をさらに充実させていきます。

数値目標

- ◆人口社会増減数(転入者数-転出者)
179人(令和元年度) ⇒ 現状維持(令和6年度)
- ◆交流人口(入込観光客数)
86万人(令和元年度) ⇒ 90万人以上(令和6年度)



(1) ひのでPR大作戦

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
ひので野鳥の森自然公園でのイベント開催	0回	4回/年以上
ロケ受入れ・相談件数	79件/年	100件/年以上

【主要施策・事業】

- ・ひので野鳥の森自然公園の活用
- ・フィルムコミッションによる地域の魅力向上・発信

(2) 定住の促進

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
広報等に空き家対策の記事を掲載	0件/年	1件/年以上
移住・定住の相談件数	2件/年	10件/年以上

【主要施策・事業】

- ・空き家の把握と対策
- ・移住・定住情報の充実

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

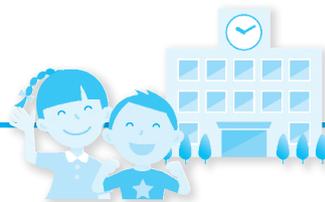
結婚をしたいと思う若者や、子どもを持つと思う夫婦が希望を持って将来設計が描けるように、次世代育成クーポンをはじめとした施策や、子育て環境の一層の充実を図り、結婚・妊娠・出産・子育てをしやすい環境づくりに取り組みます。

本町の合計特殊出生率は、島嶼部を除くと都内で第3位の高い水準を示しており、子育て環境や移住対策の充実を行いつつ、現行の水準を高めていきます。

教育環境の充実は、子育て世代にとって優先度の高い事項であることから、「確かな学力の向上」を目指して、特色ある教育活動を推進するとともに、学校施設の整備等を進めます。

数値目標

- ◆合計特殊出生率(東京都福祉保険局「人口動態統計」)
1.41(令和元年度) ⇒ 1.51以上(令和6年度)



(1) 出産・子育て支援環境の充実

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
保育園待機児童数	4人	0人
学童クラブ待機児童数	9件	0人

【主要施策・事業】

- ・包括的子育て支援体制の拡充
- ・妊娠・出産に関する支援

(2) 教育環境の充実

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
研究指定校実施状況	50%	100%
特別教室の空調整備率	59%	90%以上
普通教室・特別教室のLED化	0%	50%以上

【主要施策・事業】

- ・確かな学力の向上
- ・学校施設の充実
- ・キャリア教育等の充実

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る

学校や仕事でひとたび町外にでることになっても、町に対する愛着は、「ふるさと日の出町」への帰りを後押しするものと考えられるため、地域の課題は、地域で解決する観点からも、ふるさとに対する意識を醸成します。

安全・安心に対する住民の意識が高まる中、大きな災害が少ない日の出町の強みを生かすとともに、交通便利性の向上や環境に配慮したまちの形成、福祉施策の充実などにより、誰もが安全・安心に暮らせる環境づくりを進めます。

将来の人口減を見据えつつ、公共施設の有効活用や維持管理・更新等に係るトータルコストを縮減・平準化させるなど、戦略的な維持管理・更新に取り組みます。

数値目標

- ◆町に対する愛着度
83.3%(令和元年度) ⇒ 84.0%以上(令和6年度)
- ◆住み続けたい意向
84.5%(令和元年度) ⇒ 85.0%(令和6年度)



(1) 地域への愛着を育む環境づくり

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
行政カードのポイント付与数	1,320千点	現状維持
町民登録文化財数	62件(累計)	70件以上(累計)

【主要施策・事業】

- ・日の出町行政カードを活用した協働のまちづくり
- ・文化財と伝統文化の保存・継承

(2) 安全・安心な暮らしの確保

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
高齢者外出支援バス利用者	44,807人	47,000人以上
防災訓練参加者数	2,422人	2,700人以上
ごみ収集量	4,958 t	4,700 t 以下
ごみ資源化率	29.9%	31.8%以上
健康寿命	男78.0歳 女81.5歳	男79歳以上 女84歳以上

【主要施策・事業】

- ・地域交通システムの再構築
- ・安全・安心なまちづくり
- ・環境にやさしいまちづくり
- ・地域包括ケアシステムの構築
- ・医療費助成による健康なまちづくり

(3) 公共財産の有効活用

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
公共施設の有効活用件数	0件	1件以上
道路改良率(面積)	74.3%	76.8%以上
道路舗装率(面積)	90.1%	92.6%以上

【主要施策・事業】

- ・「公共施設等総合管理計画」に基づく公共財産の有効活用
- ・道路及び橋梁等公共施設の適切な整備と管理

横断目標 1 多様な人材の活躍を推進する

役場、企業、NPO、住民など、地域と関わる一人ひとりが地域の担い手として自ら積極的に参画できる環境を整備し、地域課題を解決できる体制づくりを推進します。

数値目標

- ◆自治会加入率
64.2%(令和元年度) ⇒ 現状維持(令和6年度)

(1) 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
地域団体との連携事業数	9件/年	10件/年以上
ひので町民大学受講者数	927人	1,000人以上

【主要施策・事業】

- ・様々な分野・人材との連携協力の推進
- ・地域コミュニティの振興

(2) 誰もが活躍する地域社会の推進

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
シルバー人材への委託	6職種 3,179人	現状維持

【主要施策・事業】

- ・新たな全世代・全員活躍型生涯活躍のまちの推進

横断目標 2 新しい時代の流れを力にする

あらゆる分野に未来技術を活用して、具体的な課題解決や地域の発展を目指す地域の取組を推進するとともに、地域課題の解決に活用可能な未来技術の有用性及びその効果を踏まえて導入することで、デジタル化を推進し、生産性や本町の強みを飛躍的に高めることについて積極的に検討します。

数値目標

- ◆Society5.0に関する補助金利用件数
0件(令和元年度) ⇒ 1件(累計)以上

(1) Society5.0の推進

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
未来技術活用件数	0件	1件(累計)以上
5G対応町域エリア	0%	70%以上
マイナンバーカードの取得率	13.3%	100%

【主要施策・事業】

- ・未来技術の活用による地方創生の推進
- ・地域における情報通信基盤等の環境整備
- ・マイナンバーカード取得推進及びマイキーIDの設定支援

日の出町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 概念図

第五次長期総合計画（案）

町が目指す将来像の実現に向けて、まちづくりを計画的に進めるため、6年間の長期展望に立って基本構想を策定し、3年ごとに前期計画と後期計画を定め、まちづくりの指針を明らかにするものです。

【計画期間】

令和2年度(2020)～令和7年度(2025)

【目指す将来像】

「みんなでつろう 日の出町！
— 安心・躍進・自立のまち —」

【計画の構成と期間】

基本構想 令和2年度(2020)～令和7年度(2025)

本町が目指す将来像、まちづくりの視点、将来像を実現するためのまちづくりの基本方向などを示すものです。

基本計画 令和2年度(2020)～令和7年度(2025)

基本構想を実現するための戦略プロジェクト、具体的な施策・個別施策を体系的に示すものです。

前期基本計画

：令和2年度(2020)～令和4年度(2022)

後期基本計画

：令和5年度(2023)～令和7年度(2025)

基本計画から効果的な政策をスライド

日の出町 人口ビジョン

町の人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示します。

【計画期間】

令和2年度(2020)～令和47年度(2065)

【計画目標人口】平成47年度(2065)

社人研推計

14,425人 → 15,870人

総合戦略の事業を行い、目標人口を目指す

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

人口減少の克服・地方創生を目的として政策分野ごとに戦略の基本目標、基本施策、個別事業を体系化し、具体的な施策を数値目標・重要業績評価指標を設定し、人口ビジョンの目標人口を目指します。

【計画期間】

令和2年度(2020)～令和6年度(2024)

【基本目標】

- ①：安定した雇用を創出する。
- ②：新しいひとの流れをつくる。
- ③：結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
- ④：時代に合った地域をつくり、安全安心な暮らしを守る。

【横断目標】

- ①：多様な人材の活躍を推進する
- ②：新しい時代の流れを力にする

職員提案及び新規事業など、総合戦略に特化した施策を反映

・基本目標→基本施策→個別事業など具体的な施策を設定し、「重要業績評価指標(KPI)」を定める。

施策評価 (PDCAサイクル)

長期総合計画において掲げている「施策毎に設定している数値目標」及び総合戦略において掲げている「基本施策毎に設定している重要業績評価指標」により、施策の効果を検証し、適宜改善を行っていきます。

日の出町人口ビジョン及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(概要版)【令和2年度～令和6年度】

発行：令和3年3月 日の出町 企画財政課 企画係

〒190-0192 東京都西多摩郡日の出町大字平井2780

電話：042-588-4117(直通) FAX：042-597-4369 <http://www.town.hinode.tokyo.jp/>